生成 AI 利用契約仕様書

1. 目的

個人情報等のセキュリティを確保しつつ、本市の固有情報を参照する機能を備えたシステムを導入し、事務の効率化及び生産性の向上を図ることを目的とする。併せて職員研修や業務における活用支援等を通じて、生成 AI の導入効果を高める。

2. 契約期間

契約締結日から 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日まで。

※令和 7 年 9 月中に使用できる環境を構築すること。

3. 業務内容

- (1) 生成 AI サービスの提供
- (2) 運用・保守・サポート
- (3) 導入・運用支援

4. 利用アカウント数

全職員が個人アカウントで利用できること。【参考】本市職員数：1,136 人

5. 利用環境

- (1) OS
Microsoft Windows 10 Pro、Windows 10 Enterprise LTSC、及び Windows 11 Pro
- (2) ブラウザ
Microsoft Edge

6. 生成 AI サービス要件

(1) 形態

当市の LGWAN 接続系端末から LGWAN 接続系を経由して、ブラウザの拡張機能の設定や専用ソフトのインストールをすることなく利用できること。また、原則として 24 時間 365 日で利用が可能であること。また、利用者が操作しやすい UI とすること。

(2) 大規模言語モデルの水準

国内リージョンの chatGPT-4 以上、Gemini 1.5 Pro もしくは同等以上に相当する性能を持つ大規模言語モデルを複数有し、切り替えて使用できること。また、バージョンアップ等に対応すること。

(3) RAG 機能

RAG (Retrieval-Augmented Generation) 機能が利用できること。

- ・登録が可能なファイル形式は【テキスト、Word、Excel、HTML】を必須とすること。
- ・管理者により、随時庁内データの追加、削除が可能であること。また、特定の一般ユーザーにも権限を付与することが可能であること。

(4) WEB との連携

グラウンディングもしくは同様の Web 検索機能を有し、インターネット情報を参照しながら回答を生成することができること。

また、生成された回答には、参照された Web ページのリンクが表示するなど、情報の出典を確認できる仕組みを有すること。

(5) 利用可能文字数

1 ヶ月あたりの利用文字数制限が 1 千万文字以上であること。

(6) 管理機能

- ① 利用者を管理者と一般ユーザーに分けて権限設定できること。
- ② 個人を識別する情報とパスワード等により認証し、ログインが可能であること。
- ③ 利用者の登録、削除、変更等を一括で処理できること。
- ④ 最新の利用文字数が常時確認できること。

(7) セキュリティ

- ① 本サービスで使用するサーバ及びデータの保管場所は、日本国内に限ること
- ② 入出力情報が生成 AI の学習に利用されないこと。
- ③ 通信が暗号化されていること。
- ④ 入出力の記録は、管理者の操作により出力が可能であること。
- ⑤ 個人情報等の機密情報について、入力制限等の検知、抑制機能を有すること。
- ⑥ 適用法律は日本国内法が適用されること。また、管轄裁判所は日本国内法の裁判所であること。

7. 料金体系

サービスは定額料金体系で提供すること。

※初期構築費用、LGWAN 環境での利用料等の諸経費が発生する場合は利用料に含むこと。

8. 運用・保守・サポート体制

(1) マニュアルの提供等

管理者用、利用者用の操作マニュアルを作成し提供することとし、内容を更新した場合には随時提供す

ること。

(2) 保守対応

利用方法や運用に関するサポートは利用料の範囲内で行うこととし、日本語による電子メールまたは電話などでの問い合わせが可能であること。なお、システムが正常に動作しない場合には、速やかに解決するように努めること。

9. 運用支援業務

(1) 研修の実施

発注者の要請に応じて、当該サービスの利用等に関する職員向けの初期導入研修を1回以上行うこと。研修形式は、対面方式・オンライン方式・ハイブリッド方式等の種類を問わない。

なお、導入研修状況を撮影・動画化し、発注者組織内で二次利用できるものとする。

また、研修の内容は以下を想定しているが、詳細は発注者と受注者の協議の上決定するものとする。

- ① 生成 AI について
- ② 当該サービスの利用方法・注意点
- ③ 指示文（プロンプト）作成のポイント

(2) 導入・運用支援業務

本市は下記の活用事例に対し生成 AI を活用することを想定している。

この支援業務の目的は、利用者である職員が、業務改善や企画立案時において、活用事例や手法等の知識を習得し、今後継続的に生成 AI を活用すること、同様の事例に対し横展開し生成 AI の利用を拡充していくことを目指すものである。上記目的を達成するための有益な方法や仕組みについては、受託者からの提案内容に基づくものとするが、詳細は発注者と受注者の協議の上決定するものとする。

なお、本市が想定している内容は以下の例示のとおりである。

【想定事例】

- ① 各種計画の素案策定における生成 AI 活用
- ② 統計資料やデータの分析、およびその結果に基づく資料の作成における生成 AI 活用
- ③ 同規模自治体の事例検索・収集・分析の効率化への生成 AI 活用
- ④ 業務効率化に資する活用（文章作成の補助や要約、Excel のマクロや関数の作成）
- ⑤ 企画立案における活用（業務の実施手段や作業項目出しの参考、疑問などの深堀）

10. 成果品

本業務における成果品は、すべて本市に帰属するものとし、本市の承認を得ず他に公表、譲渡、貸与又は使用してはならない。

(1) 提出書類等（受注者・本市による協議・提案に基づき変更されることがある。）

※様式はいずれも任意とする。ただし、記載の必要な項目については、あらかじめ本市と協議の

上、決定すること。

- ① 業務実施計画書
実施工程表、実施体制図及び情報漏洩等のセキュリティ事故を防止するための作業ルール、チェック体制などを明記した業務実施計画書を、契約締結後、速やかに提出する。
- ② マニュアル
管理者用、利用者用の操作マニュアルを作成し提供すること。
- ③ 研修資料
研修に利用した資料及び動画を提供すること。
- ④ 問い合わせ管理表
職員からの問い合わせ内容(問い合わせ日、内容、回答、完了日)をまとめた資料を業務完了後提出する。

11.その他

- ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27001 または JIS Q27001）等の第三者認証を取得していること。
- ・データの漏えい、滅失、事故等の予防に十分留意し、業務の信頼性及び安全性に努めること。
- ・業務で知り得た個人情報、及び業務上の秘密を外部に漏らし、又は他の目的に利用してはならない。
- ・成果物等はすべて市に帰属するものとする。
- ・本仕様書の内容について疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項については、市と協議の上決定する。